

國學院大學学術情報リポジトリ

彙報

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 公開日: 2024-10-31 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: メールアドレス: 所属:
URL	https://doi.org/10.57529/0002001013

彙 報

平成二十五年度（所属・役職は開催当時、敬称略）

▽二十一世紀研究教育計画委員会研究事業「地域・渋谷から発信する共存社会の構築」

「共存学」グループ

〈公開研究会〉

・第三回、「大学での地域連携・地域支援をどう進めていくか?」、吉田敏弘（文学部教授）、井上直人（オーブンブック（株）、國學院大學OB）、発表テーマ（共通）:「地域調査と地域支援の間―岩手県南地方の事例から―」、コメントーター||茂木 栄（神道文化学部教授）、黒崎浩行（神道文化学部准教授）、司会||古沢広祐（経済学部教授）、平成二十六年三月十五日（土）十三時三十分〜十六時、AMC棟五階会議室〇六

▽外部研究機関との共催研究事業

〈國學院大學研究開発推進機構研究開発推進センター関連研究会〉

・「宗教と社会学会」研究プロジェクト「戦争死者慰霊の関与と継承」研究会・國學院大學研究開発推進センター研究

事業「昭和前期における神道・国学と社会」、報告1 鈴木卓（米國デニソン大学）「記憶創りの旅路:民間人引揚者、戦死者遺児、遺骨収集者にとつての北マリアナ諸島」、報告2 西村明（東京大学）「戦地慰霊・遺骨収集をめぐるパフォーミング・メモリー」金谷安夫氏の8ミリ作品「姿なき墓標」（テニアン、昭和五十一年）、「草むす屍」（サイパン、昭和五十九年）の上映とともに、コメントーター||中山郁（國學院大學）、司会||粟津賢太（南山宗教文化研究所）、平成二十六年三月十六日（日）十四時〜十七時四十分、AMC棟五階会議室〇六

▽研究開発推進センター研究事業（北海道神宮の研究）

〈出張〉

・「北海道神宮に関する史料調査」、宮本誉士（研究開発推進機構准教授）、渡邊卓（研究開発推進機構助教）、上西亘（研究開発推進機構助教）、平成二十六年三月二日（日）〜四日（火）、北海道札幌市（北海道神宮、北海道立文書館、北海道大学附属図書館）

平成二十六年度（所属・役職は開催当時、敬称略）

▽研究開発推進センター会議

- ・第一回、平成二十六年四月五日（土）十五時～十六時、A M C棟五階プロジェクトルーム二
- ・第二回、平成二十六年八月二十六日（火）十四時～十五時五十分、A M C棟五階プロジェクトルーム二

▽研究開発推進センター研究会

- ・第一回、武田幸也（研究開発推進機構ボスドク研究員）「明治初年の神道教化と神道教説」、平成二十六年六月二十日（金）十四時三十分～十六時三十分、A M C棟五階プロジェクトルーム二

- ・第二回、大東敬明（研究開発推進機構助教）「論文「萩原龍夫の二十代」の背景―昭和前期の祭・祭祀組織研究―」、平成二十六年十一月七日（金）十五時～十六時三十分、A M C棟五階プロジェクトルーム二
- ・第三回、上西亘（研究開発推進機構助教）「昭和前期の国学研究についての一試論―藤澤親雄著『世紀の預言』を中心に―」、平成二十六年十一月二十八日（金）十四時三十分～十六時三十分、A M C棟五階プロジェクトルーム二
- ・第四回、冬月律（研究開発推進センター共同研究員）「過疎地域の神社・神道実態調査―高知県高岡郡旧窪川町を事例に―」、平成二十六年十二月十二日（金）十四時～十六

時三十分、A M C棟五階会議室〇六

- ・第五回、上西亘（研究開発推進機構助教）「昭和前期の国学研究についての一試論―藤澤親雄著『世紀の預言』を中心に2―」、網谷哲成（研究開発推進機構研究補助員）「岩手県上閉伊郡大槌町における神社と地域コミュニティ―大槌稻荷神社と小鎚神社を中心として―」、神杉靖嗣（大学院文学研究科神道学・宗教学専攻後期課程）「『別天神論争』と星野輝興・弘一の神道学説について」、平成二十七年一月二十三日（金）十四時～十六時三十分、A M C棟五階プロジェクトルーム二

▽研究開発推進センター研究事業「北海道神宮の研究」執筆者会議

- ・平成二十六年度第一回執筆者会議、平成二十六年四月二十二日（火）十三時～十五時、A M C棟五階プロジェクトルーム二
- ・平成二十六年度第二回執筆者会議、平成二十六年五月三十一日（土）十三時～十七時三十分、A M C棟五階プロジェクトルーム二

▽国際学術交流事業（國學院大學院友神職会奨学資金）

〈研究報告会「ライシャワー日本研究所との国際学術交流事

業の成果」

・大東敬明（研究開発推進機構助教）「神と仏教儀礼」再考
—米国での見聞をふまえて—、星野靖二（研究開発推進機構准教授）「十九世紀末ハーバード大学神学部の日本人留学生について」、平成二十六年六月四日（水）十五時～十六時三十分、AMC棟五階会議室〇六

▽二十一世紀研究教育計画委員会研究事業「地域・渋谷から発信する共存社会の構築」

「共存学」グループ

〈平成二十五年年度共存学研究会〉

- ・第一回、松本久史（神道文化学部准教授）「神道における「共存」の可能性」、平成二十六年十月二十三日（木）十一時～十一時四十五分、AMC棟五階プロジェクトルーム二
- ・第二回、古沢広祐（経済学部教授）「世界は巨大リスク〈原子力〉とどう共存するか？—東電フクシマ原発事故の世界史的意味」、平成二十六年十月三十日（木）十六時十五分～十六時四十五分、AMC棟五階プロジェクトルーム二
- ・第三回、菊田真司（法学部教授）「共存の政治的条件—多極共存型デモクラシー再考—」、平成二十六年十一月六日（木）十五時～十七時、AMC棟五階プロジェクトルーム二

・第四回、秋野淳一（國學院大學大学院博士課程後期）「都市祭祀にみる地域社会に通う人たちの意味—Shibuya109

の地元・道玄坂で垣間見える「共存」—、菅浩二（神道文化学部准教授）「冥王星と宇宙葬—大宇宙との共存と生命—」、磯村早苗（法学部教授）「グローバル化時代の『共存』と越境的ガバナンス」、平成二十六年十一月十三日（木）十三時三十分～十六時三十分、AMC棟五階プロジェクトルーム二

・第五回、「共存学3」執筆者会議」、平成二十六年十一月二十七日（木）十三時三十分～十六時、AMC棟五階プロジェクトルーム二

〈公開研究会〉

- ・第一回、廣瀬俊介（ランドスケイプデザイナー・風土形成事務所主宰・東京大学空間情報科学研究センター協力研究員）「震災復興と巨大防潮堤／風土・歴史・文化をふまえた地域づくりの展望 東北風景ノート」気仙沼市津谷・小泉地区災害復旧代替案—を参考に—、平成二十六年八月九日（土）十三時～十六時三十分、AMC棟五階会議室〇六

〈出張〉

・「岩手県における東日本大震災の復興と支援活動に関する現地調査」黒崎浩行（神道文化学部准教授）、網谷哲成（研究開発推進機構研究補助員）、平成二十六年八月二日（土）

・五日(火)、岩手県上閉伊郡大槌町(大槌魚市場、大槌稲荷神社、小鎚神社ほか)

・「第二回アジア未来会議「多様性と調和」(公益財団法人渥美国際交流財団関口グローバル研究会主催)への参加」
古沢広祐(経済学部教授)、ノルマン・ヘイヴンズ(神道文化学部教授)、菅浩二(神道文化学部准教授)、平成二十六年八月二十一日(木)～二十六日(火)、インドネシア・バリ島(ウタヤナ大学、イナ・グラランド・バリ・ビーチホテル)

・「岩手県における東日本大震災被災地の復興に関する現地調査・文献調査」、茂木栄(神道文化学部教授)、宮本誉士(研究開発推進機構准教授)、高久舞(研究開発推進機構ボスドク研究員)、杉内寛幸(研究開発推進機構研究補助員)、網谷哲成(研究開発推進機構研究補助員)、平成二十六年十一月二十九日(土)～十二月一日(月)、岩手県上閉伊郡大槌町(大槌稲荷神社、小鎚神社ほか、岩手県盛岡市(岩手県立図書館、もりおか歴史文化館)

「渋谷学」グループ

〈渋谷学研究会〉

・平成二十六年度第一回渋谷学研究會、テーマ「講中のにぎわい―もう一つの都市コミュニティ」、平成二十六年

十二月十三日(土) 十四時～十七時、AMC棟五階会議室

○六、講師「松井圭太(白根記念渋谷区郷土博物館・文学館学芸員)」「富士講の組織と活動―渋谷区を中心に―」、鈴木志乃(足立区郷土博物館専門員)「足立区における講中組織の機能」、高橋奈津子(國學院大學大学院博士課程後期)「雑司ヶ谷御会式講中の構成」、コメンテーター「渡邊欣雄(文学部教授)、八木橋伸浩(玉川大学教授)、コディネーター」飯倉義之(文学部助教)

〈総合講座「渋谷学」〉各回十時三十分～十二時、一一〇五教室

・第一回、林和生(文学部教授)「台地と川がつくった魅力あふれるにぎわいの街・渋谷―台地(丘)と河谷と坂道の町―」、平成二十六年九月二十四日(水)

・第二回、西樹(シブヤ経済新聞編集長)「シブヤ経済新聞と渋谷」、平成二十六年十月一日(水)

・第三回、根岸茂夫(文学部教授)「谷間の村と町の風景」、平成二十六年十月八日(水)

・第四回、吉岡孝(文学部准教授)「藩邸と名所」、平成二十六年十月十五日(水)

・第五回、上山和雄(文学部教授)「渋谷と東京」、平成二十六年十月二十二日(水)

・第六回、上山和雄(文学部教授)「渋谷と東京」、平成

二十六年十月二十九日（水）

・第七回、高久舞（研究開発推進機構ボスドク研究員）「渋谷の祝祭空間」、平成二十六年十一月五日（水）

・第八回、飯倉義之（文学部助教）「渋谷にまつわる説話」、平成二十六年十一月十二日（水）

・第九回、秋野淳一（大学院文学研究科神道学・宗教学専攻博士課程後期）、「（渋谷）の小さな神々」、平成二十六年十一月十九日（水）

・第十回、遠藤潤（神道文化学部准教授）「近世渋谷の仏教」、平成二十六年十一月二十六日（水）

・第十一回、黒崎浩行（神道文化学部准教授）「渋谷の住宅地と神社祭礼」、平成二十六年十二月三日（水）

・第十二回、橋元秀一（経済学部教授）「渋谷エコノミー」統計データからみた渋谷区およびシブヤの地域経済的な特徴と課題」、平成二十六年十二月十日（水）

・第十三回、橋元秀一（経済学部教授）「渋谷エコノミー」統計データからみた渋谷区およびシブヤの地域経済的な特徴と課題」、平成二十六年十二月十七日（水）

・第十四回、大友教史（東京急行電鉄都市開発事業本部渋谷開発事業部事業計画部課長）「今後の渋谷の再開発」、平成二十七年一月十四日（水）

▽二十一世紀研究教育計画委員会事業「『古事記』の学際的・国際的研究」

〈研究会〉

・第一回、谷口雅博（文学部准教授）「『古事記』の本文校訂

④「二神（イザナキ・イザナミ）の結婚」、平藤喜久子（研究開発推進機構准教授）「古事記冒頭部 神話学的解説」、平成二十六年五月二十八日（水）十四時～十六時三十分、A MC棟五階プロジェクトルーム二

・第二回、谷口雅博（文学部准教授）「『古事記』の本文校訂⑤「二神による国生み」、笹生衛（神道文化学部教授）「神籬と古代祭祀」、平成二十六年六月二十五日（水）十五時三十分～十七時三十分、A MC棟五階会議室〇六

・第三回、谷口雅博『古事記』の本文校訂⑥「二神による神生み」、平藤喜久子（研究開発推進機構准教授）「古事記火の起源」、平成二十六年七月二十三日十三時十五時、A MC棟五階会議室〇六

・第四回、谷口雅博（文学部准教授）「『古事記』の本文校訂⑦「イザナミの死」、笹生衛（神道文化学部教授）「剣について」、平藤喜久子（研究開発推進機構准教授）「古事記の新しい英訳を受けて」、平成二十六年十月二十二日（水）十六時～十七時、A MC棟五階プロジェクトルーム二

・第五回、平藤喜久子（研究開発推進機構准教授）「ヨローッ

パ日本学会の参加報告」、平成二十六年十一月十九日（水）十六時～十七時、A M C棟五階会議室〇六

〈講演会〉

・『古事記』の学際的・国際的研究」講演会（文学部共催）、平成二十六年十月二十五日（土）十三時～十六時四十分、國學院大學A M C棟常磐松ホール、研究代表挨拶〓武田秀章（神道文化学部教授）、講演一〓鈴木正崇（慶應義塾大学教授）「創世神話と王権神話―アジアの視点から―」、講演二〓毛利正守（皇學館大学教授・大阪市立大学名誉教授・古事記学会代表理事）「古事記・日本書紀にみる文章と文体、及び天照大御神と鏡」、司会〓谷口雅博（文学部准教授）

〈展示〉

・特別列品「多言語化される『古事記』」、平成二十六年五月二十一日（水）～二十八日（水）、國學院大學博物館
・ミュージアムトーク「多言語化される『古事記』」、平藤喜久子（研究開発推進機構准教授）、平成二十六年五月二十四日（土）十四時～十四時三十分

〈出張〉

・『ヨーロッパ日本学会での『古事記』研究現状調査』、平藤喜久子（研究開発推進機構准教授）、平成二十六年八月二十五日（月）～九月二日（火）、リュブリャナ大学（スロヴェニア）

・『古事記』関連資料調査」、平藤喜久子（研究開発推進機構准教授）、平成二十六年十二月七日（日）～八日（月）、奈良県立美術館（奈良県奈良市）

・『古事記』関連資料調査、渡邊卓 研究開発推進機構助教、平成二十六年十二月二十二日（月）～二十四日（水）、東九神社（京都府京都市伏見区）・京都府立総合資料館（京都府京都市左京区）

▽外部研究機関との共催研究事業

・第十六回神道文化会主催公開講演会「神社建築と神道文化」、平成二十六年六月十四日（土）十三時～十五時四十分、國學院大學一二〇周年記念二号館二階二二〇二教室、主催者挨拶〓松山文彦（神道文化会専務理事）、講演一〓山田岳晴（青山女子短期大学兼任講師）「神社建築の特徴と変化」、講演二〓松島義知（株式会社日本建築工藝設計事務所所長）「神社建築の現在」、主催〓財団法人神道文化会、共催〓研究開発推進センター

・公開シンポジウム「大正・昭和期の神道と社会」、平成二十六年七月十九日（土）十四時～十八時、國學院大學A M C棟常磐松ホール、基調講演〓島蘭進（上智大学グリーフケア研究所所長）「大正・昭和期の皇道運動と国家神道―軍の天皇崇拜の宗教性―」、発題一〓菅浩二（神道文化学

部准教授)「D・C.ホルトムの見た「国家神道」とは、

発題二「昆野伸幸(神戸大学大学院准教授)「二荒芳徳の思想と少年団運動」、コメンテーター「新田均(皇學館大学教授)、司会「阪本是丸(神道文化学部教授)、主催「明治聖徳記念学会、共催「研究開発推進センター」

▽國學院大學院友神職会總會研究報告会

・大東敬明(研究開発推進機構助教)「神と仏教儀礼」再考
—ハーバード大学での体験をふまえて—、平成二十六年十月二十二日(火)、若木タワー地下一階会議室〇二

▽成果公開

〈刊行物〉

- ・『北海道神宮研究論叢』弘文堂、平成二十六年九月
- ・『渋谷聞きがたり2「しぶちか」を語る—戦後・渋谷の復興と渋谷地下商店街—』平成二十六年十一月
- ・『渋谷学4—渋谷らしさの構築—』雄山閣、平成二十七年二月

- ・『都市民俗研究』第二十号、平成二十七年二月
- ・『共存学3…復興・地域の創生、リスク世界のゆくえ』弘文堂、平成二十七年二月
- ・『國學院大學研究開発推進センター研究紀要』第九号、平

成二十七年三月

・『古事記学』第一号、平成二十七年三月